



令和2年2月3日

地域と共に

「褒めてあげてください」見守り隊の方からうれしい電話がありました。

その方は、帰りの道すがらごみを拾いながら帰ってくる6年生の女の子2人を見かけられたそうです。どうしてごみを拾いながら歩いているのか尋ねられると、女の子たちは、こう答えたそうです。「私たちは、6年間この通学路を歩きました。小学校に通えたのは、この道のおかげです。卒業前に感謝の気持ちを伝えるためにごみを拾っています。」どうやら、ごみを拾うのは、今日だけのことではないようです。

お昼の校内放送を通じて、このことを全校児童に、全教職員に伝えました。みんなが笑顔になれる瞬間でした。

本人たちの希望で名前は明かしませんでした。褒められることが目的でやっているわけではないので…。

「身の回りに感謝する気持ち、地域の一員として貢献しようとする気持ちを育てる」学校運営方針に掲げた姿に触れることができました。

毎日、見守り活動を続けてくださっているからこそ見付けていただいた姿です。いつも、子供たちの様子に気を配ってくださっているからこそ気付いていただいた姿です。「地域と共にある学校」だということを強く感じます。地域の人々、環境が素晴らしいからこそこのような姿につながったのだとも思います。

6年生の小学校生活は残り2か月を切りました。このよき伝統を在校生に残し、卒業の日を迎えることでしょう。地域の皆様の祝福の中で。



〈安全見守り

よろしくお願いします集会〉



〈校区内オリエンテーリング〉